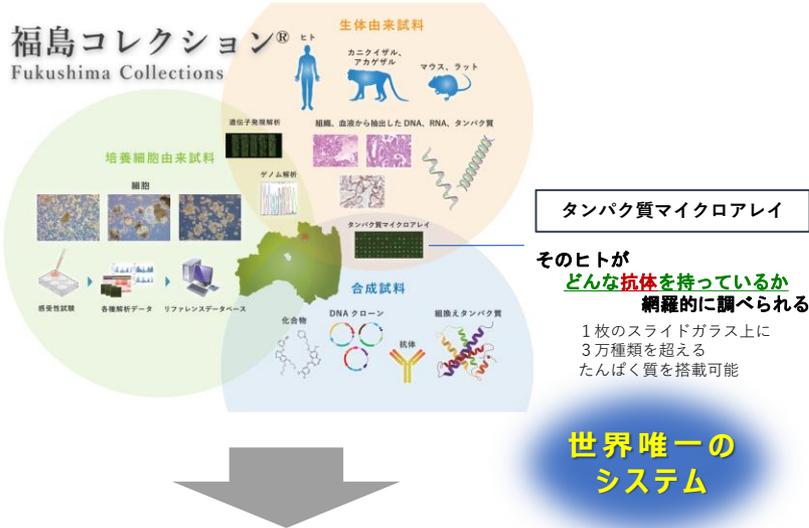


福島コレクション



抗体による新興感染症(新型コロナを含む)、がん、自己免疫疾患やアレルギーの診断・予防・治療薬の開発

新型コロナウイルスに対するIgA抗体の実用化

オミクロン株にも対応

IgA抗体を衛生製品として地元企業から販売。
(福島県民等への研究成果の還元)



IgA抗体マスク

株式会社ゼファー
(須賀川市)



IgA抗体スプレー

株式会社いちい
(福島市)

浜通りにおける拠点形成

**オープンイノベーションにより
浜通りにバイオ医薬のエコシステムを構築**



(株)ARCALIS :
2023年7月南相馬市に mRNA ワクチン原薬製造棟が竣工。
同年12月製剤製造棟着工、2026年完成予定。

福島セルファクトリー(株) :
2023年1月、本学発ベンチャー企業である同社が、浜通りサテライト実験室に入居。細胞培養を中心とした研究を実施。

浜通りサテライトの概要

所在地	南相馬市原町区錦町2-60-1
室構成	実験室4室 (BSL2:P2相当) ゲノム解析室、居室(執務室)等
業務内容	各種抗原・抗体の作製、各種タンパク質発現用プラスミドの作製、ゲノム解析等
開設時期	令和3年11月25日

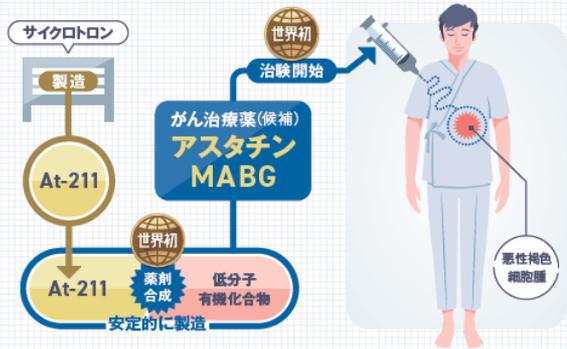
自己増殖型mRNAワクチンが国内初承認 (2023.11)

次世代mRNAワクチン「コスタイベ」(本学も治験に参加)の製造・販売を厚生労働省が承認。今後、(株)ARCALISが原薬から製剤まで一貫して製造予定。

■ At (アスタチン) -211プロジェクト <先端臨床研究センター>

At-211 MABG治療薬

- ・《世界初》ヒトに投与できるレベルでの安定的製造
- ・《世界初》治験（臨床試験）の開始（悪性褐色細胞腫（副腎） 2022年6月～）



At-211 PSMA 前立腺癌治療薬の 国内開発 短半減期核種 At-211の利点を活かす

前立腺癌患者は、日本では年間8-9万人の罹患者があり、増加傾向。（世界的にも増加傾向）

ヴュルツブルク大学（独）医学部と 大学間協定を締結



先端核医学の分野での共同研究の推進、原子力災害医療の連携協力などを目的に、2023年10月19日に協定を締結

ヴュルツブルク大学：シーボルトの出身大学で、X線を発見したヴィルヘルム・レントゲンなど多数のノーベル賞受賞者を輩出した、ドイツで最も歴史ある大学の1つ（1402年設立）

■ 福島県「県民健康調査」 <放射線医学県民健康管理センター>



東京電力福島第一原発事故による県民の被ばく線量、健康状態を把握し、疾病の予防、早期発見、早期治療につなげることを目的として実施。

後藤あや教授が ハーバード大学（米）教授に就任



後藤あや教授が、2024年1月1日付でハーバード大学 T.H.Chan公衆衛生大学院 国際保健・人口学講座 主任教授に就任